

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	協働の推進に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	9	
政策	41計画の実現のために	担当課室	市民活動推進課			
施策	411地方分権と市民参加の推進	担当課室長	笠井 真利子			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	市民活動支援補助金は平成16年度から、市民提案協働モデル事業は平成18年度から実施している。 この事業は市民との協働、市民公益活動の促進を進めるうえで中心的な役割を担う事業であるが、現状は応募件数が少ないため、事業の周知方法等の検討をすすめる。また、庁内においても行政提案型のテーマについて応募してもらえるよう周知を図る。	③平成26年度に取り組む改革・改善内容	『市民との協働戦略プラン』の見直し等の検証や、市民活動支援補助金及び市民提案型モデル事業の制度を検証する。
②①に基づく取組み結果	市の広報での募集のほか、登録団体に電子メールでモデル事業の募集をし、追加募集も行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市民公益活動団体	意図(対象をどうするのか)	協働事業の実現 市民公益活動団体の育成及び支援
②事務事業の概要	協働の推進を図るため、市民提案協働モデル事業及び市民活動支援補助事業を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	地方分権等の社会の変化により市民公益活動の重要性が増しており、今後ますます協働による事業実施が必要不可欠となるが、団体内での人材不足や高齢化が課題となっている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	市民提案協働モデル事業:0事業 市民活動支援補助事業:1事業						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	市民提案モデル事業完了報告件数	1	1	0	件	業務取得
	ii	市民活動支援補助事業実績報告件数	0	1	1	件	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算		
事業費(千円)	150	259	金額(千円)	内容	914		
国支出金(千円)	0	0	54	協働推進委員会委員報酬	0		
県支出金(千円)	0	0	57	講師謝礼	0		
市債その他(千円)	0	0	100	市民活動支援補助金	0		
一般財源(千円)	150	259			914		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	応募件数が少なく、モデル事業及び補助金事業の活用が図られていない。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	5改善
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	市民公益活動及び協働を推進するためには今後も継続する必要があるが、団体及び市民への周知方法などについては改善を要する。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H24からの繰越	
		H24⇒25繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由			流用・充当			
	平成26年度への繰越額(単位:千円)					

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	市民活動推進センターの管理運営に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	9	
政策	41計画の実現のために	担当課室	市民活動推進課			
施策	411地方分権と市民参加の推進	担当課室長	笠井 真利子			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	平成26年度に計画している市民活動推進センターの移転も考慮し、センター利用についてのPRを行う。またホームページの活用についても周知を図る。市民公益活動団体同士の横のつながりができるような対策を考える。具体的には、まなびいふれあいフェスタのようなイベントの実施方法について、今までのような市民活動推進課主導ではなく、市民公益活動団体同士が話し合いあう場などを設け、計画から実施までできるような会合を検討する。	③平成26年度に取組む改革・改善内容	市民活動推進センターウェブページをリニューアルし、市民活動推進センターの一層のPRを図る。 また、公募した実行委員との連携及び意見集約を図り、(仮称)市民活動フェスタを市民との協働により成功させる。
②①に基づく取組み結果	市民活動推進センターの移転(平成26年4月7日)に併せて、移転及びセンターの機能を周知するチラシを作成し市民会館等で配布した。また、センターよりの特別号を作成し、自治会回覧等を実施した。 まなびいふれあいフェスタに代わる(仮称)市民活動フェスタについては、センターの利用者意見交換会を開催し、意見交換会で協議の結果、将来的には実行委員会を組織し、実行委員会がイベントの計画から実施までを行うこととした。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市民公益活動を行う団体及び市民	意図(対象をどうするのか)	市民公益活動を行う団体を支援するとともに、市民のまちづくり意識の醸成を図る。
②事務事業の概要	市民活動推進センターは、様々な分野において市民公益活動を行う団体や、これから活動しようとしている人を支援し、市民公益活動を推進する拠点として設置した。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	地方分権等の社会の変化により市民公益活動の重要性が増しており、今後ますます協働による事業実施が必要不可欠となるが、団体内での人材不足や高齢化が課題となっている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	市民活動推進センター来所者数 : 3, 159人 市民活動推進センター登録団体数: 120団体 市民公益活動相談件数 : 47件						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	利用団体数	332	238	183	団体	業務取得
	ii	市民公益活動相談件数	16	30	47	件	業務取得
iii	市民活動推進センターウェブページアクセス件数		7,881	7,034	7,694	件	業務取得
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳			平成26年度予算	
事業費(千円)	1,973	2,376	金額(千円)	内容		2,442	
国支出金(千円)	0	0	1,232	プロジェクトマネージャー報酬		0	
県支出金(千円)	0	0	265	ホームページ団体検索システム保守委託		0	
市債その他(千円)	0	0				0	
一般財源(千円)	1,973	2,376				2,442	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	市民活動推進センターの存在や活用方法について、団体や市民に浸透していないため、利用団体数が減少している。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	5改善
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	今後も、さまざまな機会をとらえて積極的に市民活動推進センターの存在や機能を情報発信し、利用者の増加に努めていく必要がある。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H24からの繰越	
		H24⇒25繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由	平成26年度への繰越額(単位:千円)					

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	男女共同参画推進に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	9	
政策	14個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります	担当課室	市民活動推進課			
施策	143男女共同参画社会づくり	担当課室長	大伯 昌司			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	担当課が自己評価した事業実施度の「実施できなかった」「実施していない」事業については、第1次実施計画進捗状況の中で、新たに担当課名等を明記し公表していく。	③平成26年度に取り組む改革・改善内容	成果指標である審議会等女性委員割合が下がっていることから、室として委員を推薦できる体制を充実させるとともに、同体制を周知していく。
②①に基づく取組み結果	男女共同参画推進計画第1次実施計画の進捗状況について、実施していない1事業について担当課名を明記したうえで、市ホームページで公表した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	庁内各課	意図(対象をどうするのか)	全庁的に計画を推進することで、職場や家庭、地域等様々な場で女性の参画を促進していく。
②事務事業の概要	「鎌ヶ谷市男女共同参画推進計画」は、平成23年度から平成32年度までを計画期間としており、男女共同参画社会の形成に向けた目標、施策の方向性等を定めている。 この計画の推進にあたっては、男女共同参画推進懇話会を設置しており、学識経験者、公募による市民代表者から、広く意見を求めている。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	少子高齢化、経済の低迷等から家庭や職場、地域等あらゆる分野において男女が支え合いながら能力を発揮していく男女共同参画社会の形成が重要となる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	男女共同参画推進懇話会の開催状況:会議開催回数3回、延べ出席者数27人						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	審議会等女性委員割合	24.5	24.5	21.8	%	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳			平成26年度予算	
事業費(千円)	220	189	金額(千円)		内容	281	
国支出金(千円)			177		男女共同参画推進懇話会委員報酬		
県支出金(千円)							
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	220	189				281	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	男女共同参画意識の醸成には、男女共同参画室をはじめとする庁内各担当課の「男女共同参画推進計画」に基づく、女性委員を推薦できる体制の充実など、地道な事業の実施が必要					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	計画の進行管理において、各事業の実績を踏まえた課題を精査し、次年度の事業に活かしていく必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H24からの繰越	
		H24⇒25繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由						
	平成26年度への繰越額(単位:千円)					

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	男女共同参画推進センターの管理運営に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	9	
政策	14個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります	担当課室	市民活動推進課			
施策	143男女共同参画社会づくり	担当課室長	大伯 昌司			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	センターの認知度を高めるとともに利用促進を図るため、きりり会館への移設を契機に、市民が利用しやすい環境を整えるべく、工事担当課と協議のうえ男女共同参画室の意見を反映させていく。	③平成26年度に取り組む改革・改善内容	センターの役割や機能等について、あらためてセミナー、広報、ホームページ等あらゆる機会(媒体)を通じ、PRをしていくことで利用促進を図る。
②①に基づく取組み結果	きりり会館への移設にあたり、工事担当課との綿密な協議により、市民が利用しやすい環境を整えることができた。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市民・職員・事業所	意図(対象をどうするのか)	セミナーの実施や情報誌の配布により、男女共同参画意識の醸成を図る。
②事務事業の概要	男女共同参画推進センターは、男女が互いにその人権を尊重しつつ責任を分かち合い、性別にかかわらず個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会実現の活動拠点施設として設置した。この施設は、「学習・研修」「情報収集・提供」「相談」「交流」「活動支援」「調査・研究」等の事業を実施している。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	少子高齢化や経済の低迷といった社会の中で、男女共同参画意識の醸成を行い、男女共同参画社会を形成していく必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	男女共同参画週間事業、行政・市民企画セミナー等を実施し、延べ595人の参加を得られ、市民編集委員による企画・立案のうえ、情報誌を発行し市内全戸配布を行い、男女共同参画意識の醸成を図った。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	男女が平等であると考える市民割合			20.1	%	市民意識調査
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳			平成26年度予算	
事業費(千円)	8,125	5,703	金額(千円)	内容		7,029	
	国支出金(千円)			918	プロジェクトマネージャー報酬		
	県支出金(千円)	3,184		2,519	非常勤職員賃金		
	市債その他(千円)			459	印刷製本費		
	一般財源(千円)	4,941	5,703	846	女性のための相談業務委託	7,029	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	社会情勢等を考慮し、時代のニーズを的確に把握したセミナー等の実施が課題					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	各種事業の参加状況やアンケート結果を踏まえたうえで課題を精査し、次年度の事業に活かしていく必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H24からの繰越	
		H24⇒25繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由	流用・充当					
	平成26年度への繰越額(単位:千円)					

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	人権施策に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	9	
政策	14個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります	担当課室	市民活動推進課			
施策	411地方分権と市民参加の推進	担当課室長	大伯 昌司			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	人権特設相談の利用向上のため、人権相談の周知について工夫を行い、市民が利用しやすい体制づくりを行う。	③平成26年度に取り組む改革・改善内容	人権啓発活動における新たな試みとして、スポーツ組織と連携した事業に取り組む
②①に基づく取り組み結果	人権週間時の映画上映会の際に、人権相談をはじめとする活動について、パネル展示を行うことで周知を図った。6月1日には休日の相談を実施し、1名の相談があった。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市民	意図(対象をどうするのか)	相談や啓発を通じて人権尊重が図られる
②事務事業の概要	市民が生活するうえで発生する人権の侵害や人権に関する悩みごとについて相談や人権尊重思想の普及を図るための啓発事業を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	人権相談については、親子間の関係、近隣とのトラブルなど多岐にわたっており、対応が難しくなっている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	毎月、市で実施している人権相談では4名の利用があり、人権週間事業では人権映画上映会を実施し、220名の参加が得られ、相談及び啓発活動により人権尊重が図られた。					
②成果を表す指標	指標名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i 市民の意見や要望が市政に反映されていると思う市民の割合			26	%	市民意識調査
	ii					
	iii					
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算	
事業費(千円)	1413	737	金額(千円)	内容	698	
国支出金(千円)			158	映画上映委託		
県支出金(千円)	1037	373	147	映画フィルム借上料	265	
市債その他(千円)			296	市川人権擁護委員協議会負担金		
一般財源(千円)	376	364	50	千葉県人権センター負担金	433	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	インターネットを中心とした人権侵害事例が増加				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	相談の利用状況、事業のアンケート結果を踏まえたうえで課題を精査し、次年度の事業に活かしていく必要があるため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	平成25年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績		当初		H24からの繰越	
		H24⇒25繰越			
③達成状況		補正		現年分	
④未完了・非着手の理由		流用・充当			
平成26年度への繰越額(単位:千円)					

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	自治会集会所整備助成事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	9	〇
政策	14個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります	担当課室	市民活動推進課			
施策	141個性豊かなコミュニティづくり	担当課室長	笠井 真利子			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	新築及び用地取得の場合で最高3,000万円の補助金が受けられることで、自治会の負担へ軽減されるが、市の財政状況を考慮し、かつ、着実な建設促進を行うため、見直しが必要と考える。	③平成26年度に取り組む改革・改善内容	鎌ヶ谷第二区連合自治会館建て替えの補助を行う。
②①に基づく取組み結果	「自治会集会所の新築に係る補助金交付基準」の見直しを図り、労務単価の上昇分と消費税アップに伴い補助金限度額について最高3,300万円の補助が受けられることとなった。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	自治会集会所の建設を予定している自治会	意図(対象をどうするのか)	地域コミュニティと自治会活動の活性化を図り、自治会加入率増加にもつながる。
②事務事業の概要	自治会が集会所を建設する際に、その整備費の一部を助成する。 補助対象経費 事業費の8/10以内 限度額 新築及び用地取得 33,000千円・新築のみ23,000千円・解体1,500千円			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	自治会集会所の老朽化が進んでいることから、早期着工、早期建設に向けた要望が増加することが予想される。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	受所自治会館の解体及び建設事業に対し、21,010千円の補助金の交付を行った。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	ふれあいラリー参加者		2,238	2064	人	業務取得
	ii	自治会加入率		68	68	%	業務取得
	iii	自治会加入世帯数		29,398	29407	世帯	業務取得
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳			平成26年度予算	
事業費(千円)	30,000	21,010	金額(千円)	内容		33,623	
国支出金(千円)			20,000	受所自治会館建設			
県支出金(千円)			1,010	受所自治会館解体			
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	30,000	21,010				33,623	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	自治会集会所の建て替えを希望している自治会が複数あることから、それぞれの自治会とのヒアリングを実施し、実施計画に計上していく。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	受所自治会館建替の補助金を交付した。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	受所自治会館解体・新築事業への補助金交付	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	21,010千円	21,166	21,166	当初	21,166	H24からの繰越	0
				H24⇒25繰越	0		
③達成状況	完了			補正	0	現年分	21,010
④未完了・非着手の理由				流用・充当	0		
				平成26年度への繰越額(単位:千円)		0	

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	各種相談に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	12	
政策	41計画の実現のために	担当課室	市民活動推進課			
施策	411地方分権と市民参加の推進	担当課室長	笠井 真利子			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	相談者が多く、現在の相談日だけでは対応できない。相談日や相談時間を延長したい。	③平成26年度に取組む改革・改善内容	各種相談の利用率向上を図るべく、実施している相談のPRや相談回数を見直しを行う。
②①に基づく取組み結果	市以外で行っている各種相談窓口の情報提供を行っている。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市民	意図(対象をどうするのか)	各種相談を通じて、安心した市民生活や市民福祉の向上を図る。
②事務事業の概要	市民が社会生活を送るうえで発生する諸問題について、その解決を援助するため市民相談を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	景気の低迷や少子高齢化社会、高度情報化社会などの急速な生活環境の変化によって、相談内容も多岐多様となってきている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	年間386件の相談を受け市民ニーズに対応した。					
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	算定根拠
	i	相談件数			386	業務取得
	ii					
	iii					
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算	
事業費(千円)	1,648	1,652	金額(千円)	内容	1,696	
国支出金(千円)			1,638	法律相談報酬		
県支出金(千円)						
市債その他(千円)						
一般財源(千円)	1,648	1,652			1,696	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	市民生活に係る各種トラブルを解決していくためには相談日及び項目の拡充が必要となる。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	弁護士等が行う各種相談への支援を行い、年間386件の利用があった。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績		当初		H24からの繰越		
		H24⇒25繰越				
③達成状況		補正		現年分		
④未完了・非着手の理由		流用・充当				
	平成26年度への繰越額(単位:千円)					

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	コミュニティセンターの管理運営に関する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	13	
政策	14個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります	担当課室	市民活動推進課			
施策	141個性豊かなコミュニティづくり	担当課室長	笠井 真利子			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	コミュニティセンター利用者向上のため市内4館(くぬぎ山、北中沢、鎌ヶ谷、南初富の各コミュニティセンター)に洋式トイレを設置する。また、雷から施設を守る「誘導雷防止装置」を6コミュニティセンターと軽井沢集会所に設置する。	③平成26年度に取組む改革・改善内容	非常勤職員が常駐する3館(鎌ヶ谷、南初富、道野辺中央)について、指定管理者制度を導入するための手続きを行う。
②①に基づく取組み結果	洋式トイレ及び誘導雷防止装置を各コミュニティセンターに設置した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	地域住民	意図(対象をどうするのか)	市民相互の交流を深め、人間性豊かな地域社会の形成を図る。
②事務事業の概要	地域住民の自主的な活動の場を確保し、もって市民相互の交流を深め、市民福祉の向上と人間性豊かな地域社会の形成を図るため、市内6ヶ所のコミュニティセンター(鎌ヶ谷、南初富、道野辺中央、北中沢、くぬぎ山、栗野)を管理運営する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	利用人数は平成24年度以降増加傾向にあり、今後も利用方法や施設・設備等について検討・改善を行うことで、更なる増加が予想される。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	市内6ヶ所のコミュニティセンターを管理運営することにより、市民福祉の向上と人間性豊かな地域社会の形成に大きく貢献した。 平成25年度の総利用者は、107,748人であった。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	①1施設当たりの利用者数(利用者数/コミュニティセンター数)		17,958	17,958	人	業務取得
	ii	②1施設当たりの管理運営費(管理運営費/コミュニティセンター数)		8,382	8,382	千円	業務取得
	iii	③一人当たりの管理運営費(管理運営費/利用者数)		467	467	円	業務取得
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算		
事業費(千円)	43,713	48,468	金額(千円)	内容		50,291	
	国支出金(千円)		48,468		コミュニティセンター維持管理費		
	県支出金(千円)						
	市債その他(千円)						
	一般財源(千円)	43,713	48,468			50,291	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	コミュニティセンター3館(鎌ヶ谷、南初富、道野辺中央)について、「民間委託推進計画」の位置づけのもと指定管理者制度の導入について検討を行う必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	洋式トイレ化及び誘導雷防止装置の設置を行い、利用者サービスの向上を図った。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	平成25年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績		当初		H24からの繰越	
		H24⇒25繰越			
③達成状況		補正		現年分	
④未完了・非着手の理由		流用・充当			
		平成26年度への繰越額(単位:千円)			

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	コミュニティセンター等改修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	13	○
政策	14個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります	担当課室	市民活動推進課			
施策	141個性豊かなコミュニティづくり	担当課室長	笠井 真利子			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	公共施設の長寿命化を図るため、経年劣化した施設の改修を行う。今年度は、北中沢コミュニティセンターの外壁・屋上防水及び空調設備改修工事が平成26年度に実施されるに当たり設計委託を行う。	③平成26年度に取り組む改革・改善内容	経年劣化したコミュニティセンターを計画的に改修する。26年度は、北中沢コミュニティセンター外壁・屋上防水、空調設備改修工事を前年度から繰越し行う。また、南初富コミュニティセンター外壁・屋上防水工事を行う。
②①に基づく取組み結果	北中沢コミュニティセンターの外壁・屋上外壁工事の設計を行い、工事を発注した。(H26繰越)		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	地域住民	意図(対象をどうするのか)	コミュニティセンターの適正な維持管理を図ることにより、地域コミュニティの活性化を図る。
②事務事業の概要	老朽化した北中沢コミュニティセンターの外壁・屋上防水の改修工事及び空調設備の改修工事を行う。(平成25年度、平成26年度の2カ年事業) また、南初富コミュニティセンター外壁・屋上防水改修工事を行うに当たり、実施設計を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	各施設とも老朽化が進み、今後も修繕が必要となることが予想される。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	北中沢コミュニティセンター外壁・屋上防水、空調設備改修工事実施設計及び工事。南初富コミュニティセンター外壁・屋上防水工事実施設計。				
②成果を表す指標	指標名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	算定根拠
	i	①1施設当たりの利用者数(利用者数/コミュニティセンター数)	17,958	人	業務取得
	ii	②1施設当たりの管理運営費(管理運営費/コミュニティセンター数)	8,382	千円	業務取得
iii	③1人当たりの管理運営費(管理運営費/利用者数)	467	円	業務取得	
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算
事業費(千円)	16,348	17,354	金額(千円)	内容	68,837
国支出金(千円)		500	12,800	空調設備改修工事(北中沢コミセン)	
県支出金(千円)			3,528	外壁・屋上防水及び空調設備改修工事実施設計委託(北中沢コミセン)	
市債その他(千円)			861	外壁・屋上防水改修工事実施設計委託(南初富コミセン)	
一般財源(千円)	16,348	16,854			68,837

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	各施設の老朽化が進み、維持管理・修繕費用がかさむ状況となっている。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	北中沢コミュニティセンターの外壁・屋上防水及び空調設備改修工事を実施した。(H26繰越)				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	公共施設の長寿命化計画	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	北中沢コミュニティセンター外壁・屋上防水工事及び空調改修工事	67,818	66,191	当初	5,313	17,354	H24からの繰越
				H24⇒25繰越			
③達成状況	未完了			補正	62,505		現年分
④未完了・非着手の理由	2ヶ年繰越事業			流用・充当	-1,627		
				平成26年度への繰越額(単位:千円)		48,837	